

お洒落なジャズの空間～スイングする鉄筋彫刻展終わる



8月7日(水)より開催されていた、作家徳持耕一郎さん(鳥取市在住)の鉄筋彫刻作品を集めた企画展「スイングする鉄筋彫刻 part 2」が、一ヶ月の会期を終えて9月8日(日)に幕を閉じました。この鉄筋彫刻展は昨年5月に連休をはさんで約2週間開催したところ、とても好評でしたので、今年は夏の一ヶ月間に期間を拡大し、展示スペースも1.5倍に増やしての開催となりました。

徳持さんは、もとは版画家でしたが、ニューヨーク在住の時にジャズに触れ、ナプキンに演奏風景をスケッチしたのが線を使った彫刻作品へのきっかけだったそうです。日本の浮世絵にも感化され、独自の線の作品である鉄筋彫刻を生み出したのです。

何種類かの太さの黒い鉄筋で作られたジャズ演奏の彫刻は、2次元でもあり3次元でもあり、背景の壁に映った影とともに、シャープでクールな音楽シーンを生み出しています。モノトーンであるが故に、観る者にイメージーションを与えてくれます。

今回の展示は、等身大のものがベーシスト、女性ヴォーカリストなど5点、80センチほどの小品がヴァイオリニスト、ピアニスト、トランペッター、チェリストなど18点、それに版画作品5点も含めて、全部で31点。ディズニープロダクションと提携で作った3匹の猫は子どもにも大人気でした。



企画展コンサート「スムーズ・スイート・スチールパン」



企画展コンサート「今宵、ピアノトリオ」

会期中には2回、展示会場でジャズコンサートが行われました。9日(金)は「スムーズ・スイート・スチールパン」と題して、カリブソをメインとしたプログラム。演奏は、村治進さん(スチールパン)、田島隆さん(ギター、タンバリン)、照喜名俊典さん(ユーフォニアム)、アリシア・サルデーニャさん(ヴォーカル)。トリニダード・トバゴ出身のアリシアさんのカリブ海テイストが充満し、スチールパンの甘い透き通った音色が最高のコンサートで、「ミステリーバンド」「ブルーゼット」「サンキューベイビー」「さらばジャマイカ」など、おなじみの名曲を楽しみました。

22日(木)は「今宵、ピアノトリオ」と題して、オーソドックスなピアノ、ベース、ドラムスのトリオと女性ヴォーカル。浜松で活躍する藤森潤一さん(ピアノ)、鈴木辰美さん(ベース)、星合厚さん(ドラムス)、鈴木辰美さん(ヴォーカル)

の演奏で、「サマータイム」「フライ・ミー・トゥ・ザ・ムーン」「ユッド・ビー・ソー・ナイス・トゥー・カム・ホーム・トゥ」など、ジャズのスタンダードをたっぷり楽しみました。

鉄筋彫刻に囲まれてのコンサートは、コンサートホールとはまた違って、なかなかお洒落な雰囲気、カクテルでもほしい気分になりました。

「スムーズ・スイート・スチールパン」

日時：平成25年8月9日(金) 19:00～20:00

会場：楽器博物館 展示室

出演：村治進 田島隆 照喜名俊典 アリシア・サルデーニャ

入場者：51人

「今宵ピアノトリオ」

日時：平成25年8月22日(木) 19:00～20:00

会場：楽器博物館 展示室

出演：藤森潤一 星合厚 鈴木辰美 鈴木麻美

入場者：58人

東京で感動を与えました！「むかしむかしの素敵なピアノー19世紀に咲いた華ー」



ミニコンサートのピアニストと記念写真



熱心に見学してくれた小学生姉妹とお母さん



4台が並んだガラコンサートは圧巻



サロンコンサート「月の光に誘われて
～エラールピアノとフランスのうた～」

8月1日（木）より東京銀座のヤマハ銀座店スタジオで開催されていた楽器博物館初の東京展覧会「むかしむかしの素敵なピアノー19世紀に咲いた華ー」が、同月29日（木）に幕を閉じました。会期中の入場者は3700人余。この展覧会は浜松に生まれ、本社を置く世界的楽器メーカーヤマハ株式会社の創業125周年記念事業の一環として、また、世界的な浜松市楽器博物館の東京でのコレクション展として、両者の共催で企画されたものです。

展示ピアノは、現存する最古のピアノ（1720年クリストフオリ作、メトロポリタン博物館所蔵）のレプリカ（1995年河合楽器製作所製）、1802年ロンドンのブロードウッド、1810年ウィーンのワルター&サン、1820年頃ウィーンの伝グラーフ、1874年パリのエラール、そして1820年ロンドンのブロードウッド&サンズのスクエア・ピアノの計6台。ピアノの誕生地であるフィレンツェと、その後のピアノ製作発展の中心であったウィーン、ロンドン、パリの名器です。

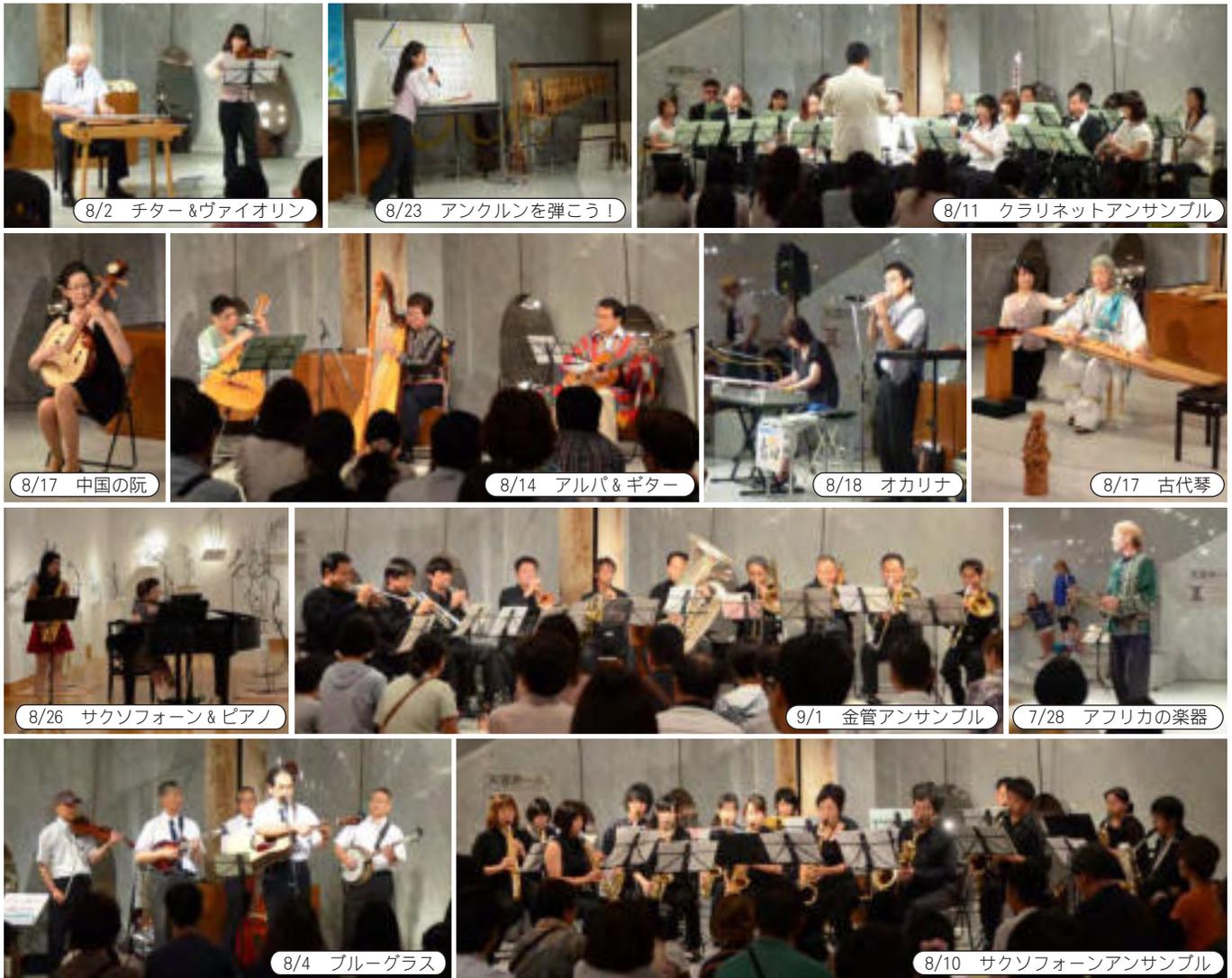
夏休みとあって子ども達もたくさん。ワークシートを

手にお母さんやお父さんと一緒に楽器を見たり、解説パネルを読んだり、アクション模型を触ったりして、一生懸命にピアノの歩んできた道を勉強していました。

会期中にはピアノコンクールの全国大会が東京であり、全国からの多くの出場者にも展示をご覧いただきました。特に、毎日13時、15時、18時に6台全てのピアノを解説を交えて演奏する30分間ほどのミニコンサートでは、毎回多くの方が熱心にお話と音に耳を傾けていました。また12日（月）と24日（土）にはヤマハコンサートサロンにてサロンコンサート、展示終了後の30日（金）にはヤマハホールにて、4台のフォルテピアノと管楽器、弦楽器を交えた豪華なコンサートが開催され、大きな感動を聴衆に与えました。

東京には大学や私立の楽器博物館と個人宅にフォルテピアノがたくさんあるのですが、このように体系的に長期間展示して、演奏もするという機会は今までに無く、ピアノに関わる人に大きな感動を与えることができました。浜松市楽器博物館の存在も多くの方に知っていただけました。楽器博物館にとって大変意義のある展覧会でした。

ミュージアムサロン「大盛況！！世界の音を楽しむコンサート」



毎年、多くのお客様が来られる夏には、楽器博物館でもイベントを開催します。今年も盛りだくさんのサロンコンサートで賑わいました。

7月28日(日)は、ミュージックセラピストのロビン・ロイドさんがアフリカの楽器を紹介。お客様とリズム遊びをして盛り上がりしました。30日(火)は当館職員の梅田徹がインドネシアのアンクルンを紹介。8月2日(金)は、ギター演奏を打越島三さん、ヴァイオリン演奏を当館職員の小山暁子で、ウィーンの曲を紹介。ギターとヴァイオリンの優しい音色が響きました。4日(日)は、地元浜松のカントリーフロンティアの皆さんによるブルーグラスの演奏を楽しみました。10日(土)はサクソフォーン。浜松サクソフォークラブの皆さんによる演奏です。ソプラノ、アルト、テナー、バスのサクソフォーンだけの響きは迫力がありました。今回は特別に発明者のアドルフ・サククス製作の19世紀サクソフォーンと現代の楽器の音色の違いの聴き比べもあり、19世紀の楽器の音色にも驚きました。11日(日)は、浜松クラリネットクワイアーの皆さん。クラリネットの名曲や

浜松市歌などが披露されました。14日(水)は、南米のハーブ・アルパの演奏です。演奏はアルパが長島忠之さん、ペルー出身のパブロ・テロネスさんはギター、大きく低い音の特徴のギター、ギタロンは櫻井壮憲さんでした。17日(土)は中国の阮(ルワン)をタン・ソク・ティエンさんが紹介しました。珍しい楽器の音に異国の雰囲気を感じました。午後は遼安さんによる日本の弥生・古墳時代の古代琴の紹介。古代の神秘的な音を堪能しました。18日(日)はオカリナとピアノのユニット「音心」が、大小さまざまなオカリナを持ち替えてバラエティあふれるの音楽を演奏しました。23日(金)は当館職員の小池真梨がアンクルンを紹介しました。26日(月)はアルトサクソフォーンの岩井若葉さんとピアニストの青井油以さんのアンサンブルを企画展示室で行いました。最後の9月1日(日)は、ハママツブラスアンサンブルの皆さんによる金管十重奏でした。トランペット、トロンボーン、ホルン、チューバなど、迫力ある演奏になりました。

ミュージアムサロン「第4回電子チェンバロとクラシックオルガンの集い」



上野美科 中野振一郎 公月愛子



公月愛子 中野振一郎



櫻井亜希子



ウインズローグ



アンサンブル葵



安藤智子



溝田陽子



松田健志

公益財団法人ローランド芸術文化振興財団と楽器博物館の共催で始まった“電子チェンバロとクラシックオルガンの集い”も今年で4回目となります。今回は6組の方々に出演していただきました。

トップは今回のコンサートで唯一のオルガン奏者、松田健志さん（愛知県名古屋市）です。松田さんはプロテスタント教会の牧師さんで、普段はリードオルガンを演奏されているそうです。今回もご自身で編曲された曲を演奏していただきました。「編曲をすることで、より原曲の良さを感じることができます。」とお話していただきました。

2番目は安藤智子さん（静岡県浜松市）です。普段から古典派の曲を演奏されているそうです。今回はフランスの作曲家ラモーと、ドイツの作曲家バッハ、この2人の曲の雰囲気の違いを味わってほしいと演奏していただきました。

3番目はアンサンブル葵の皆さん（京都府京都市）。電子チェンバロ、ソプラノ、ヴァイオリン、ヴィオラのアンサンブルです。毎年歌とチェンバロで出演して下さっている小田さんと荒井さんの高校時代の後輩である春田さんの歌、そして春田さんの2人の娘さんがヴァイオリン、ヴィオラで加わりました。結成のきっかけやアンサンブルの楽しさを話され、息の合った演奏を披露していただきました。

4番目は溝田陽子さん（島根県出雲市）。普段からご自宅にあるチェンバロで演奏しているそうです。外科医でとてもお忙しい生活の中、チェンバロはご自分にとっての癒しだと話していただきました。

続いてチェンバロソロで今回初めてのご出演、櫻井亜希子さん（東京都豊島区）です。まだチェンバロを始めて2年だそうです。弾けば弾くほどこの楽器に魅せられ、ご自分の人生に不可欠なものだということが、お話の中から、そして演奏から伝わってきました。

6番目は第1回から出演していただいている、電子チェンバロ、フルート、チェロのアンサンブルで、ウインズローグの皆さん（静岡県浜松市）。普段からさまざまなジャンルの演奏をされているそうです。今回のコンサートもバッハからビートルズと幅広いジャンルで会場を楽しませていただきました。

最後はゲストによる演奏です。昨年に引き続きチェンバリストの中野振一郎さん、公月愛子さん。そして今年はヴァイオリニストの上野美科さんにも演奏していただきました。最後は当館の館長によるリコーダーも加わり、中野さんの楽しいお話と華やかな演奏で幕を締めくくりました。

レクチャーコンサート 「インドネシアジャワ島の世界無形遺産 影絵人形芝居ワヤン・クリ ビモと人食い鬼」



日 時：平成 25 年 7 月 21 日（日） 14：00～16：30
プレトーク：13：15～
会 場：アクトシティ浜松 音楽工房ホール
出 演：ローフィット・イブラヒム（ダラン）
ピンタンララス（ガムラン）
入場者：117 人

ワヤン・クリはガムランを伴奏に上演される影絵芝居で、子どもから大人まで楽しむことができます。ひとつの物語がとても長いので、一晩かけて上演されます。子どもたちにとっては夜更かしができる口実にもなり、ワヤン・クリの上演を楽しみにしているそうです。

今回の出演は、ジャワ出身で日本在住のダラン（人形遣い）をローフィット・イブラヒムさん、ガムランは関西を中心に活躍しているガムラグループ「ピンタンララス」の皆さんです。「ビモと人食い鬼」という物語を上演していただきました。

ダランは人形すべての登場人物を操り、語り、ガムランの指揮を行います。人形には鮮やかな色がついていますので、影絵でなくとも楽しめますが、スクリーンを通して影を見ていると、影が大きくなったり、小さくなったり、と幻想的な風景を楽しめます。

また、プレトークでは今回の物語の登場人物や、人形の持ち方、演技方、どのようなときにワヤン・クリが上演されるかなどをローフィットさんに伺いました。

アンコールにはジャワの伝統舞踊も披露され、馬や虎が登場しました。まるでインドネシアの村にいたような楽しいひと時でした。

夏休みワークショップ 「インドネシアの影絵人形 ワヤン・クリを作ろう!!」

インドネシアの影絵人形芝居ワヤン・クリで使う皮の人形を皮ではなくてボール紙で作りました。人形は「ラーマヤナ物語」に登場するラーマ王子、シータ姫、ハヌマーン（猿）、鳥、鹿、鬼の 6 つの中からひとつを選んで作りました。ラーマヤナ物語は鬼に連れ去られた姫をラーマ王子が助けに行くという内容で、まず、ローフィット先生が影絵芝居で実演してくれました。その後子どもたちは、1 時間かけて一生懸命型紙を切り取り、糸で結んだり、色を塗ったりして人形を作りました。仕上げにローフィット先生に目の部分を専用の工具であけてもらいました。

次は、子どもたちがオリジナルの物語を考えます。子どもたちが作ったのは主人公のラーマ王子ではなく脇役の猿が圧倒的に多くなってしまいました。佐々木先生が誰がいつ登場するか、鬼は退治するか、仲間にするか、子どもたちの頭の中のイメージを少しずつ引き出してまとめていくと丁度「桃太郎」のような内容になりました。先生が即興でお話を作りながら、ガムランで伴奏してくださいます。付き添いの保護者の方々はスクリーン越しに子どもたちの白熱した演技を見て楽しんでいました。

長時間のワークショップにも関わらず、子どもたちは最後まで集中して取り組んでいました。



日 時：平成 25 年 8 月 3 日（土） 13：30～16：00
会 場：楽器博物館 展示室
講 師：ローフィット・イブラヒム 佐々木宏実
参加者：11 組 30 人

レクチャーコンサート「笛・ふえ・フエ～楽しいぞ！リコーダーと仲間たち～」



日 時：平成 25 年 8 月 25 日（日） 14：00～16：00
会 場：アクトシティ浜松 音楽工房ホール
出 演：吉澤実（リコーダーとそのほかの笛たくさん）
永田平八（リュート）
入場者：83 人

NHK 教育テレビ「ふえはうたう」の講師を務めていたことで知られている吉澤実さんとリュート奏者の永田平八さんをお迎えして「笛」のコンサートを開催しました。笛といってもさまざまな種類があります。大きなリコーダーや小さなリコーダー、石の笛、弥生・縄文の笛など、世界中の笛を集めての楽しいコンサートでした。

昔の小鳥愛好家たちはバードフラジレットという小さな笛を使って、歌を教えていたそうです。鳥に歌を教えるための曲も書かれていて、歌を覚えさせるには10ヶ月もかかったそうです。リコーダーでは「グリーンズリーヴス」やクーブラン作曲の「愛のうぐいす」。フルートではグルック作曲の「精霊の踊り」が演奏されました。その他にも、能管や土笛、パンパイプ、角でできたゲムスホルン、手のひらよりも小さなリコーダーや 2メートル以上ある大きなリコーダーなど、さまざまな笛を演奏してくださいました。見たことも聞いたこともない笛が登場するたびに、客席から感嘆の声があがりました。

今回は親子で楽しめるコンサートでしたので、家族で来場された方もたくさんいらっしゃいました。夏休みの良い思い出になったことでしょう。

イブニングサロン「共鳴弦の陶醉、ヴィオラ・ダモーレ」

Duo Sweet 17 の田辺晴子さんとコルネル・ル・コントさんをお迎えして、ヴィオラ・ダモーレとヴィオローネによるコンサートを行いました。ヴィオラ・ダモーレは「愛のヴィオラ」という意味で、17～18世紀に活躍した弦楽器です。演奏弦の下にある共鳴弦が常に響いているため、甘美で温かな音色がします。楽器の糸巻きを収めている部分には目隠しがされている女性の彫刻を施すのが慣習になっており、これは「愛は盲目」と言われるためのようです。しかし、その複雑な構造や甘い響きゆえの小さい音量のため、現在ではほとんど使用されなくなった楽器でもあります。ヴィオローネは、現在のコントラバスの祖先にあたります。

今回は田辺晴子さんが、ヴィオラ・ダモーレを弾き始めるきっかけとなったルイジ・ボルギ作曲の「デュエット 二長調」や、日本で初演となった Duo Sweet 17 の為に特別に作られたジュセッペ・ルピス作曲の「コデックス・ルペンシス」などが披露されました。生演奏だからこそダイレクトに感じられる共鳴弦の響きに、お客様もうっとりとした表情で聴き入っていました。ヴィオラ・ダモーレとヴィオローネの織り成す愛の調べに酔いしれた素敵なコンサートとなりました。



日 時：平成 25 年 7 月 24 日（水） 19:00～20:00
会 場：楽器博物館 天空ホール
出 演：Duo Sweet 17（田辺晴子（ヴィオラ・ダモーレ）
コルネル・ル・コント（ヴィオローネ））
入場者：70 人

新発売!! ベートーヴェンとC.P.E バッハ CDに3アルバム!

高い評価を受けているコレクションシリーズCDに3つのアルバムが加わりました。No.45「ベートーヴェン チェロとクラヴィーアのための作品全集I～1810年のワルターとともに～」(2枚組)、No.46「ベートーヴェン チェロとクラヴィーアのための作品全集II～1810年のワルターとともに～」、No.47「C.P.E. バッハ フルート・ソナタ集～クヴァンツ・フルートによる～」です。



チェロ音楽の最高峰であるベートーヴェンのチェロ・ソナタと、チェロとピアノのための曲を全て収録。1810年ウィーンのワルター作フォルテピアノを小倉貴久子、チェロを花崎薫が演奏。2つの楽器の調和と一体感はモダンピアノでは困難な世界。ぶらあぼ、CDジャーナル、レコード芸術誌で高く評価されました。

フルート・ソナタ集は C.P.E. バッハゆかりのフリードリヒ大王が所蔵していた世界の至宝クヴァンツ・フルートを有田正広が自在に演奏。多情多感な音楽を見事に描き出しています。伴奏は、同じく世界の至宝ブランシェのチェンバロを有田千代子が演奏。朝日新聞で絶賛されました。

博物館日誌

- 7/21(日) レクチャーコンサート
「インドネシアジャワ島の世界無形遺産 影絵人形芝居ワヤン・クリピモと人食い鬼」 14:00 (プレトーク 13:15)
出演: ローフィット・イブラヒム (ダラン)、
ピンタンララス (ガムラン) 入場者: 117人
- 7/24(水) イヴニングサロン「共鳴弦の陶醉、ヴィオラ・ダモーレ」 19:00
天空ホール 出演: Duo Sweet17 (田辺晴子、コルネル・ル・コント) 入場者: 70人
- 7/28(日) ミュージアムサロン「アフリカの楽器」 14:00、15:30
出演: ロビン・ロイド 入場者: 121人
- 7/30(火) ミュージアムサロン「アンクルンを弾こう!」 14:00 天空ホール
出演: 当館職員 (梅田徹) 入場者: 53人
- 8/1(木)～8/29(木)
東京展覧会「むかしむかしの素敵なピアノ展-19世紀に咲いた華-」
会場: ヤマハ銀座スタジオ 共催: ヤマハ株式会社 入場者: 3725人
- 8/2(金) ミュージアムサロン「チター&ヴァイオリン」 14:00
天空ホール 出演: 打越島三、当館職員 (小山暁子) 入場者: 45人
- 8/3(土) 夏休み子どもワークショップ
「インドネシアの影絵人形 ワヤン・クリを作ろう!」 13:30 展示室
講師: ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実 参加者: 11組 30人
- 8/4(日) ミュージアムサロン「ブルーグラス」 14:00、15:30
天空ホール 出演: カントリーフロンティア 入場者: 106人
- 8/7(水)～9/8(日)
企画展「スイングする鉄筋彫刻 part2～徳持耕一郎作品による～」
入場者: 15511人
- 8/9(金) 企画展コンサート「スムーズ・スイート・スチールパン」 19:00
展示室 出演: 村治進、田島隆、照喜名俊典、アリシア・サルデーニャ
入場者: 51人
- 8/10(土) ミュージアムサロン「サクソフォーンアンサンブル」 14:00、15:30
天空ホール 出演: 浜松サクソフォークラブ 入場者: 210人
- 8/11(日) ミュージアムサロン「クラリネットアンサンブル」 14:00、15:30
天空ホール 出演: 浜松クラリネット・クワイヤー 入場者: 212人
- 8/13(火)～16(金) 教職員研修 各日3人 計12人
- 8/14(水) ミュージアムサロン「アルパ&ギター」 14:00、15:30 天空ホール
出演: 長島忠之、パブロ・テロネス、桜井壮憲 入場者: 219人
- 8/17(土) ミュージアムサロン「中国の阮」 11:00 天空ホール
出演: タン・ソク・ティエン 入場者: 115人
ミュージアムサロン「古代琴」 15:00 天空ホール
出演: 遼安 入場者: 70人
- 8/18(日) ミュージアムサロン「オカリナ」 14:00、15:30 天空ホール
出演: 音心(えんじろう、亮子) 入場者: 215人
- 8/21(水) 県民の日 無料入館日 入館者: 909人
- 8/22(木) 企画展コンサート「今宵、ピアノトリオ」 19:00 展示室
出演: 藤森潤一、星合厚、鈴木辰美、鈴木麻美 入場者: 58人
- 8/22(木)～30(金)(26日を除く) 学芸員実習 実習生: 9人
- 8/23(金) ミュージアムサロン「アンクルンを弾こう!」 14:00 天空ホール
出演: 当館職員 (梅田徹、小池真梨) 入場者: 35人

- 8/24(土) ミュージアムサロン
「第4回 電子チェンバロとクラシックオルガンの集い」
13:00～17:00 天空ホール 出演: 6組 12人
ゲスト: 中野振一郎(電子チェンバロ)、公月愛子(電子チェンバロ)、
上野美科(ヴァイオリン) 入場者: 330人
- 8/25(日) レクチャーコンサート
「笛・ふえ・フエ～楽しいぞ! リコーダーと仲間たち～」 14:00
音楽工房ホール 出演: 吉澤実、永田平八 入場者: 83人
ミュージアムサロン「アンクルンを弾こう!」 11:00、14:00、15:30
天空ホール 出演: 学芸員実習生 入場者: 208人
- 8/26(月) ミュージアムサロン「サクソフォーン&ピアノ」
13:00、14:30、15:30 出演: 岩井若葉、青井由似 入場者: 98人
- 9/1(日) ミュージアムサロン「金管アンサンブル」 14:00、15:30
出演: ハマツツラスアンサンブル 入場者: 177人

これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日数回
チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- レクチャーコンサート
「ルネサンス バロック モダン リコーダーはいろんな顔を持っている!」
～トリオで聴く、リコーダーの魅力～
9/20(金) 19:00 天空ホール
出演: ヴァルター・ファン・ハウヴェ、田中せい子 ダニエレ・ブラジエッティ
「インドネシア バリ島の世界無形遺産 影絵人形芝居 ワヤン・クリ
『ラマヤナ物語』より武將クワンパカルナの戦死」
10/14(月) 14:00 音楽工房ホール 出演: 梅田英春、ギーター・クンチャナ
「共鳴する弦～19世紀ギターとスクエアピアノの対話」
10/26(土) 18:30 天空ホール 出演: ダリオ・マカルーソ、岩村かおる
- イヴニングサロン いずれも天空ホール
「国際古楽コンクール<山梨>2013 入賞者コンサート」
10/11(金) 19:00 出演: 岡村知由紀、吉崎恭佳、野澤知子
「郷愁のウィーン、チターにのせて」
10/27(日) 18:30 出演: ヴィルフリート・シャルフ
- 講座「楽器の中の聖と俗」(全3回)
10/1(火)「ハンガリアン・ダンス① 華麗、乙女たちの舞い」
10/15(火)「ハンガリアン・ダンス② 歌って踊って、三世代競演」
10/29(火)「ハンガリアン・ダンス③ 田園が似合う楽器たち」
講師: 西岡信雄 いずれも 18:30～20:00 展示室

浜松市楽器博物館だより

平成 25 年 9 月 20 日発行 No.80・81 編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央 3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp URL http://www.gakkihaku.jp/